

平成24年4月刊行

「仏涅槃図」に秘められた謎と魅力を徹底解明

石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究

安嶋 紀昭（広島大学大学院教授・博士〔文学〕）
編著



石山寺涅槃図「常楽会本尊画像」とともに、
他所蔵の国宝・重文クラスの絵画を
オールカラーで併載、
X線・赤外線撮影を駆使して、隠された情報を解読

B4判・上製函入・152頁

原色図版（石山寺涅槃図の全図と部分図） 26点

原色参考図版 46点

モノクロ参考図版 83点

赤外線写真 18点

透過軟X線写真 14点

定価33,600円（税込5%）

法蔵館の風
400年

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
Home page <http://www.hozokan.co.jp> E-mail info@hozokan.co.jp

「石山寺涅槃図」を最新画像解析技術で色鮮やかに再現

- 原色を再現、国宝・重文クラスの絵も一挙掲載 石山寺涅槃図の全図と部分図26点とともに、他の国宝・重文クラスの絵画46点をオールカラーで併載、出色の出来栄え
- X線・赤外線撮影により肉眼では見えない情報もキャッチ 釈尊の袈裟の色は塗り替えられていた、など驚きの新事実が続々
- 涅槃図の本当の主人公は？ 衣服、装飾品、文献の記述から登場人物を比定し、涅槃図の中心人物が釈尊ではなく、釈尊の前に佇む弥勒菩薩であることを解明。伝統ある涅槃図に仮託して弥勒信仰を鼓吹した天下の孤本
- 浮かびあがる意外な制作者 線描の特徴から、作者は、国宝「鳥獣戯画」を描いた宮廷絵師と同一人物であることが判明
- 日本仏画における線描史を解明 古代から中世の絵画を「線描」の観点から再解釈、日本の仏教美術研究に一石を投ずる積年の成果



石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究

広島大学大学院文学研究科教授
博士(文学)

安嶋 紀昭 編著



仏教の風
400年

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
Home page <http://www.hozokan.co.jp>
E-mail info@hozokan.co.jp

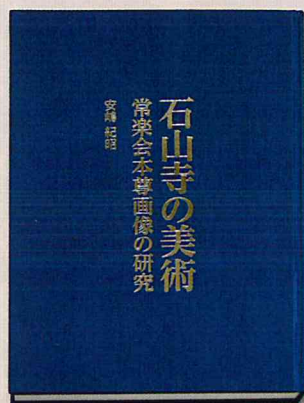
編著者略歴

安嶋 紀昭 (あじま のりあき)

1961年東京都生まれ。

広島大学大学院文学研究科教授。博士(文学)。

著書に、『東寺の五大尊十二天 その美しき対照—大治本と建久本—』(東寺宝物館)、『国宝阿弥陀聖衆来迎図』(高野山霊宝館)、『国宝仏涅槃図—応徳二年銘—』(共著、高野山霊宝館)、『秘仏金色不動明王画像』(園城寺編集、朝日新聞社) など多数。



序 大本山石山寺第五十二世座主 鷺尾 遍隆
 尊名比定一覽
 図版凡例
 原色図版
 原色参考図版
 反射近赤外線写真・透過軟X線写真
 序論
 第一章 現状と様式上の特徴
 第二章 図様上の特徴
 第三章 線質上の特徴
 結論
 あとがき

注文書	(書店印)	注文冊数	法藏館 定価 33,600 円 (税込5%)	ご住所 (郵便番号)
	ご担当 様	冊	安嶋 紀昭 編著 石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究 ISBN 978-4-8318-7283-8 C3071 ¥32000E	都・道・府・県 市・郡
				お電話
				お名前